

# 福岡都市圏と水源地域を感謝の絆で結ぶ 「ありがとうの森プロジェクト」

～次の50年への礎として～

# 福岡地区水道企業団とは

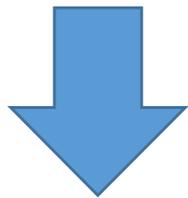
- **福岡都市圏（10市7町）** に水道用水を供給する団体
- 河川等から取水した水を浄水し、家庭等に水道水を供給する市町に送る  
「**水の卸売業**」

# 水は福岡都市圏のアキレス腱

- 昭和30年代以降、都市機能増大、人口増加、生活レベルの向上により**水需要が年々増加**
- 需要を満たす大河川が圏内にない  
→ 少雨時に**二度の大渇水**を経験  
(昭和53年、平成6年)

# 昭和53年の大渇水

- **約300日**に及ぶ給水制限  
一日平均給水制限時間は**14時間**！  
給水車による  
運搬給水などで対応



**市民生活に多大な  
被害をもたらす**

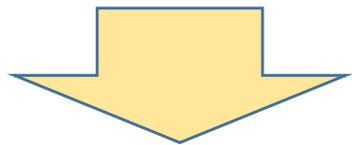


昭和53年渇水 南畑ダム

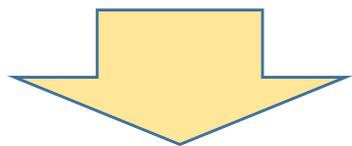
## 【福岡都市圏の背景】

一級河川がなく水資源に乏しい

福岡都市圏の発展（人口増・経済成長）



水が必要 = 安定した水道水源の確保



筑後川から水をいただけないか

# 筑後川からの水の確保



筑後川からの  
取水受入体制

昭和48年6月1日  
福岡地区水道企業団設立

昭和58年11月

念願の

「福岡導水」 供用開始

(筑後川の水が福岡都市圏へ)

# 企業団の4つの水源

○筑後川（江川・寺内ダム他）

○多々良川（鳴淵ダム）

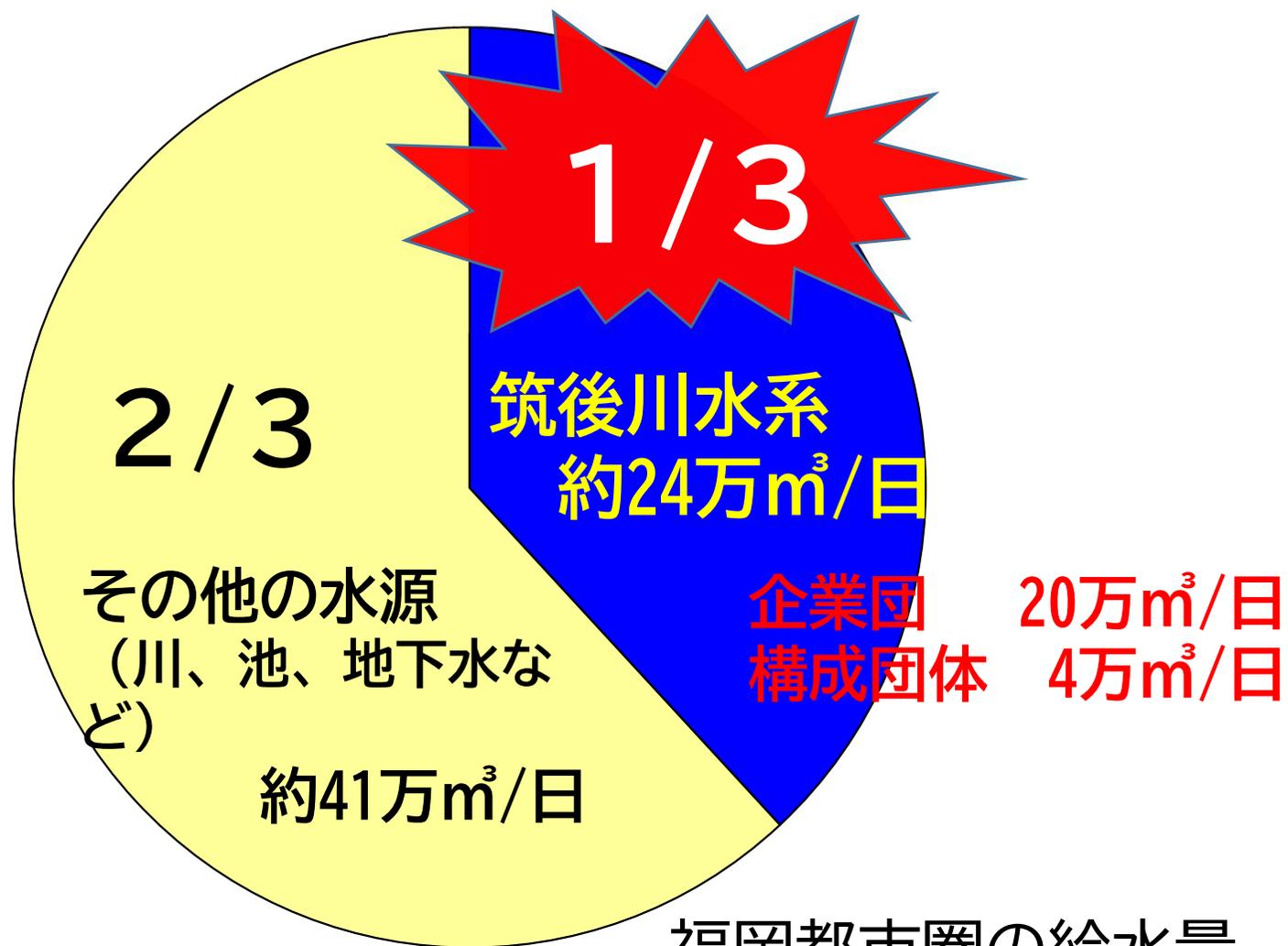
○那珂川（五ヶ山ダム）

+

○海水淡水化施設



# 都市圏水道用水の水源地内訳



筑後川の恵みに  
あらためて感謝

福岡都市圏の給水量  
約65万 $\text{m}^3$ /日 (令和4年度実績)

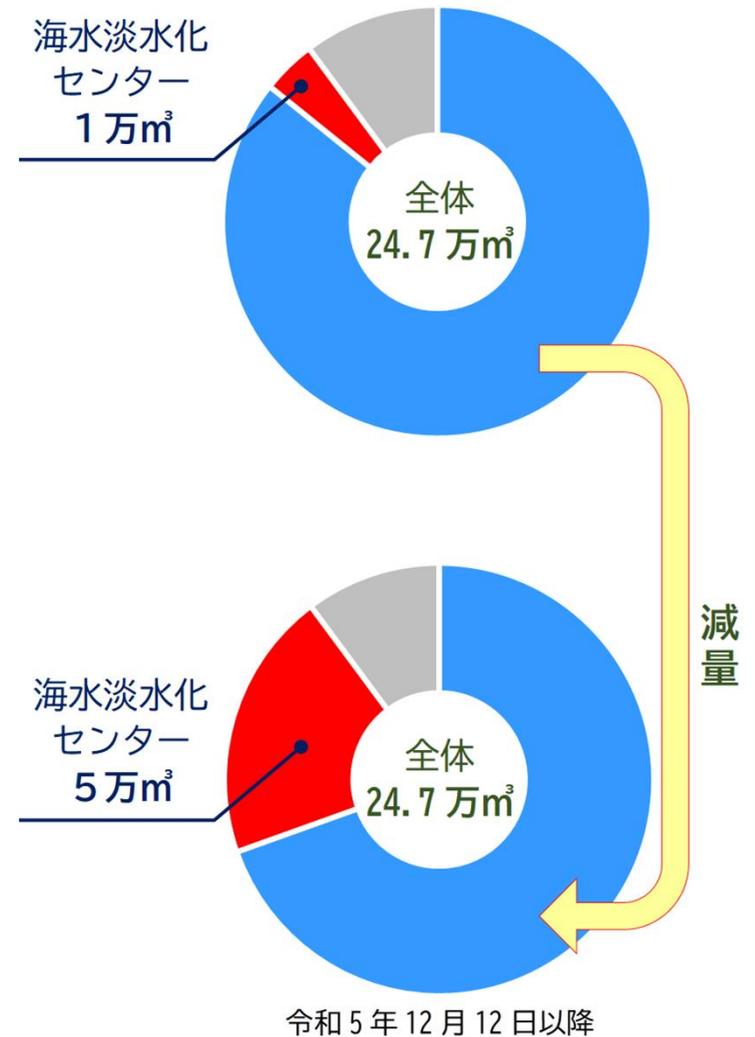
# 渇水時には・・・（令和5～6年に発生）

海水淡水化センター  
生産水量を  
増量

筑後川取水を  
減量

ダムからの  
放流量を抑制

福岡地区水道企業団の  
一日最大供給水量（1～3月期）



# 筑後川の恵みへの感謝

- **河川**は流域住民の**生活を支える資源**  
(都市生活、農業、工業、漁業)
  - 筑後川といえども決して**常に流量が豊富なわけではない** (年数回の取水制限)
  - **利水と治水**との困難な調整も
- 
- 筑後川からの導水は  
**流域住民の理解と不断の協力が前提**

令和5年6月

**企業団設立50周年**

を迎え

**記念事業を実施**

# 記念事業の目的

50歳の  
誕生日を祝ってもらう  
ためではない

水道水の1/3は  
筑後川の水

福岡都市圏の理解促進

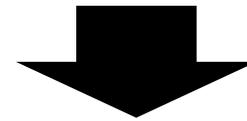


筑後川への感謝の気持ち



**筑後川流域にお届け**

**記念事業 ≠ 単なる情報発信**  
**= 情報・体験の共有**



**意識・行動の変容へ**

# 市民への体験機会の提供

○水を学ぶ講座（4回の連続講座）

○親子ツアー（8/4）



○まみずピア見学強化プロジェクト

○牛頸まつり

考えてみよう!  
ふくおかの「水」のこと @福岡テンジン大学

【第1回】[大人の社会科]  
なぜ福岡は“水がない”のに  
九州一の都市となったのか

日時:5月20日(土) 13:30~16:00  
場所:福岡市博物館 2階 喫茶・談話室

○登壇 ○登壇 ○モデレーター

 有馬 学さん  
福岡市博物館総館長

 岩永 真一さん  
福岡テンジン大学 学長

 倉員 知子さん  
TVQ「You刊ふくおか」  
木曜コメンテーター

福岡のまちの歴史について水を切り口に語り合う

■お申し込み  
ファックス(552-1729)、または、メール(50syuunen@f-suiki.or.jp)  
5月11日まで

■参加費 無料

■定員50人(多数の場合は抽選)

【次回予告】それぞれ申し込みを受け付けます。

第2回  
6月24日(土)  
13:00~16:00  
施設見学、  
ワークショップ  
海水淡水化センター

第3回  
7月22日(土)  
施設見学  
筑後大堰、江川・  
寺内ダムなど

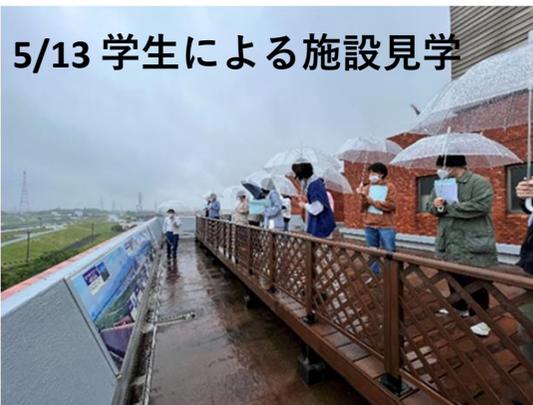
第4回  
9月30日(土)  
ワークショップ  
福岡市植物園  
(※ターナライズアゲ)

福岡地区水道企業団総務課 TEL:552-1731 FAX:552-1729

# 市民・他団体との連携協力

九州産業大学 × 福岡市教育委員会 × 福岡地区水道企業団

## 福岡導水を知る小学生向けの学習動画素材の作成



### ○期待される効果

- ・ 学生の都市圏の水事業の理解浸透
- ・ 学生からの情報発信
- ・ 自治体と連携したモノづくりの体験

福岡テンジン大学 × 福岡地区水道企業団

## 連続講座『考えてみよう！ふくおかの「水」のこと』



大人の学び「大人の社会科」の一環として、日常生活で身近な「ふくおかの水」をテーマに、自分が暮らす地域のことやその暮らしを支える水源地域、歴史や土木技術について気楽に学び、考える機会をNPO法人福岡テンジン大学と連携し提供

# 市民・他団体との連携協力

九州大学芸術工学部 × 福岡地区水道企業団

## 記念事業のロゴマークの作成



R5.4.6 西日本新聞にロゴマーク決定の記事掲載

# 感謝の気持ちを伝えるために

- 「筑後川のめぐみフェスティバル」に併せて、  
**設立50周年記念式典を開催**

日時：令和5年10月14日（土）10：30～

場所：福岡市役所西側広場

水源地域への  
感謝の気持ちを  
広く発信する特別な場



例年10月に開催の  
筑後川のめぐみフェスティバル

## ありがとうの森プロジェクト

- 水源地域への感謝の気持ちを「**ありがとうのメッセージ**」として、寄せていただく。
- 集まったメッセージは、記念式典において、  
**水を育む苗木に添えて水源地域に贈呈**



# ありがとうの森 プロジェクト

筑後川の恵みへの理解と感謝を広げたい

福岡都市圏260万人の暮らしを支える  
水道水の約3分の1が筑後川の水という  
ことを知っていただきたい

そこから生まれる水源地域への「感謝の  
気持ち」を目に見える「ありがとうの  
メッセージ」として届けたい





## 福工大附属城東高校 文化祭

「筑後川へのありがとうを集めよう！」コーナー



高校生たちも

たくさんの「ありがとう」を

集めてくれました 🍃

## 福工大附属城東高校+福岡女子商業高校

天神地下街での街頭キャンペーン

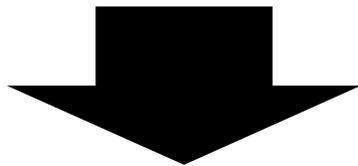


「ありがとうのメッセージ」を茂らせた

「ありがとうの木」が

「ありがとうの森」となり





記念式典において、

いつか森になる

苗木等に添えて水源地域に贈呈



記念式典で目録贈呈

## 水源地域での取組

贈呈した苗木などの緑を  
植樹活動などに活用



## 水源地域への発信

「ありがとうの森」のパネルを  
水源地域の自治体に設置



**感謝の気持ちが伝わりました**

# プロジェクトの狙い



感謝の気持ち



言語化

言葉にすることで

胸にとどまる



可視化

見えることで

伝わりやすくなる

水道水の1/3は  
筑後川の水

福岡都市圏の理解促進

筑後川への感謝の気持ち



筑後川からの恵みを受け続ける  
次の50年の礎

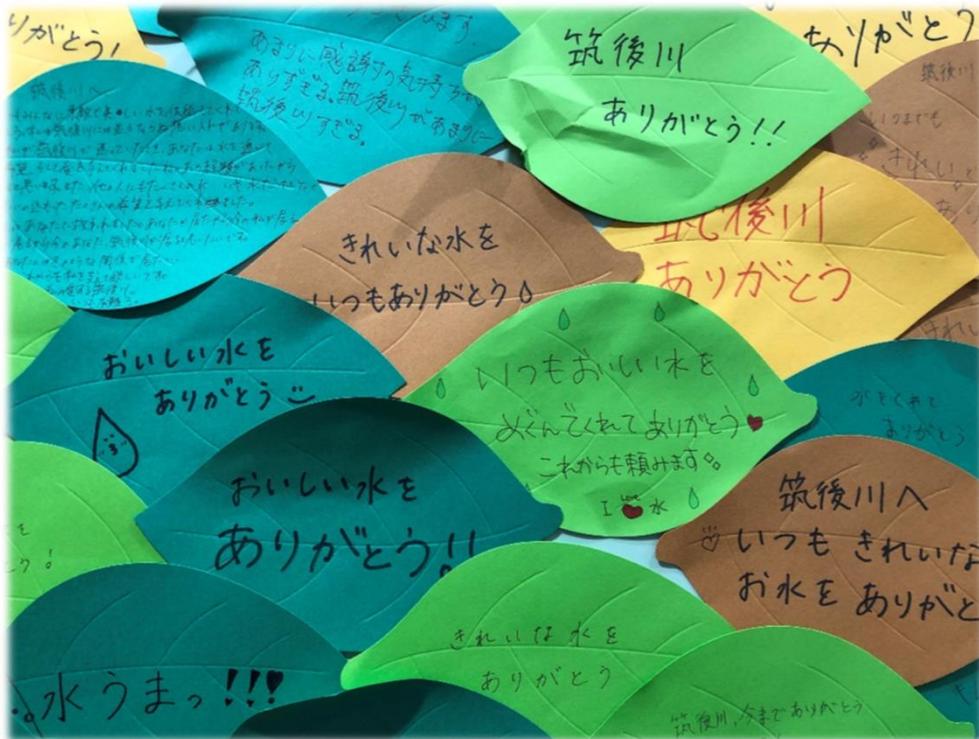
# 対話は社会のインフラ

福岡都市圏からの感謝 ⇔ 水源地域の理解と協力

福岡地区水道企業団は  
その絆を結ぶ架け橋

# ありがとうの森プロジェクト 継続決定！

今年も「ありがとうの森」をお届けします



# 筑後川との大切な絆

福岡地区水道企業団 設立50周年



50年分の“ありがとう”  
を込めて

福岡地区水道企業団  
50周年記念事業  
名誉おうえん隊長  
**アキラギンゴ**

筑後川との大切な絆  
これまででも、これからも、  
水とともに

水源開発の歩み



令和5年 設立50周年 (2023)

福岡都市圏の水道水の約1/3は、筑後川からの水が使われています

企業団設立 昭和48年(1973) 水源取水 開始開始

© 三弘社

企業団加盟団：福岡市・大野城市・筑紫野市・太宰府市・古賀市・糸島市・宇美町・志免町・深堀町・粕屋町・篠栗町・久山町・新宮町・春日那珂川水道企業団・宗像地区専任組合

これまで、  
これからも、  
水とともに

